

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 86 2014年2月

発行：日本信頼性学会
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-10-11 一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第22回春季信頼性シンポジウム発表募集

- (日時) 2014年6月23日(月) 13:00~19:00(時間は予定です)
(会場) 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル
(主催) 日本信頼性学会
(後援) 一般財団法人日本科学技術連盟
(協賛) 公益社団法人応用物理学会、一般社団法人電子情報通信学会、一般社団法人電気学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人日本経営工学会、一般社団法人日本品質管理学会、特定非営利活動法人安全工学会、研究・技術計画学会、公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会、一般社団法人日本開発工学会、日本シミュレーション学会、一般社団法人日本人間工学会、一般社団法人プロジェクトマネジメント学会、IEEE Reliability Society Japan Chapter
(協賛は依頼中)

<発表のおすすめ>

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思っておりますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思っております。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<学会誌への投稿推薦のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1~2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌「信頼性」への投稿を推薦しています。推薦された発表が投稿された際には、通常よりも短い期間で審査が行われます(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。また、推薦された論文が掲載可と判定された場合には、掲載時に必要となる諸費用が一部免除されます。

<予定セッション構成>

1. 【組織、管理、規格、プロジェクト管理面】：生産システム、組織改革、管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例。管理手法適用事例、人間信頼性、社会との関わり、または新手法。
2. 【試験、故障解析、部品、要素技術の信頼性、ハードウェア面】：部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析、物性(接続、接着、腐食、摩耗、疲労、マイグレーションなど)、全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. 【システムの信頼性、保全性、ライフサイクルおよびソフトウェア面】：システムまたはソフトウェアの信頼性、保全性、ライフサイクルコスト、リサイクル、リユース、保全支援活動の設計、解析、保証事例・改善事例など。
4. 【安全性、リスク】：産業安全、製品安全、リスク解析など。

5. 【データ収集, 解析】: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. 【理論, 一般】: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

＜参加費と発表者の特典＞

シンポジウム参加費 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,000 円, 非会員 3,500 円, 学生 1,000 円
情報交換会参加費 2,000 円 発表者は情報交換会にご招待いたします.

＜発表申込方法＞

申込方法 「発表申込書」に発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい. 申込書の Word ファイルは学会ホームページ (<http://www.reaj.jp/>) にあります. または, 学会誌 1 月号 ii ページをコピーして FAX にてお申してください.

申込期限 2014 年 3 月 17 日 (月) まで

審査結果 2014 年 3 月 25 日 (火) 頃までにご連絡いたします.

発表原稿締切 2014 年 5 月 23 日 (金) ワープロで A4 判 2 枚または 4 枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

2013 年度第 1 回見学会

次の通り, 日本信頼性学会の見学会を開催します. 会員の皆様は勿論, 会員外の方々もお誘い合わせの上, 是非多数ご参加くださいますよう, ご案内申し上げます.

- (日 時) 2014 年 3 月 6 日 (木) 14:00~16:00 集合は 13:40 若葉台駅改札口前 (厳守)
- (見 学 先) 京王電鉄株式会社 若葉台工場 (東京)
〒206-0824 東京都稲城市若葉台 3-5-2
<http://www.keio.co.jp/group/traffic/index2.html> を参照
- (交 通) 京王相模原線「若葉台駅」から徒歩約 5 分 (集合・解散は若葉台駅となります)
【ご注意】特急, 急行は若葉台駅には停車しません.
各駅停車, 快速, 区間急行をご利用ください.
京王線新宿駅等からの場合, 調布駅まで特急を利用し同駅で乗り換えると便利です. (詳細は, ご参加の方にご連絡いたします)
- (内 容) 1 葉台工場の紹介
2 工場の工程, 設備の見学
3 ATC (自動列車制御装置) に関する説明
4 質疑応答

今回は, 京王電鉄・若葉台工場の見学会を企画しました.

京王電鉄をはじめ鉄道事業者では列車が安全に運行するために車両の定期検査を行っています. 京王電鉄では日常的な検査は検車区 (3ヶ所) で実施し, 大規模な検査と修理は若葉台工場で実施します. 工場では 4 年または走行距離が 60 万 km を超えない期間に行う重要部検査と 8 年を越えない期間に行う全般検査のほか, 更新工事や大規模な修理を行っています. これらの業務を行っている若葉台工場は, 公害の発生源とならないよう万全の対策が施されています. 今回の見学ではそのような検査・修理の工程や設備をご覧頂きます.

見学の後には, ATC (自動列車制御装置) の説明をして頂きます. ATC とは, 先行列車との間隔や曲線, 分岐 (ポイント), 下り勾配, 停車駅などさまざまな条件をもとに, 常に適正な速度で走行するよう列車をきめ細かく制御する装置です. 多くの皆さまのご参加をお待ちしております.

- (参加費) 会員および学生：無料 / 非会員：2,000円
(申込方法) 学会ホームページ <http://www.reaj.jp/> よりお申込ください
(申込締切) 2014年2月27日(木)
参加人数は20人以内とします。定員になり次第締め切ります
(問合せ先) 日本信頼性学会 事務局
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内
電話 03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 IECディペンダビリティ規格研究会

信頼性、保全性及び保全支援の計画と管理を規定する国際規格IEC 60300 シリーズの適用に関する研究会です。会合は、月一回。いつからでも入会できます。

- (日時) 2014年2月25日(火) 18:30~21:00
(場所) 一般財団法人日本科学技術連盟 千駄ヶ谷本部ビル会議室
(JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分、地下鉄副都心線 北参道駅から徒歩7分、都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)
(内容) 保全性性能を確保するための中心的役割を持つ、保全性プログラムの適用の手引き、IEC 60300-3-10: Maintainability の研究を行います。規格の翻訳とその内容の審議を行い、適用上の問題点を明確にし、最終的に訳文書と解説書を作成します。理解を広める上で必要な関連規格、60300-3-11: Reliability centered maintenance, 60300-3-12: Integrated logistic support なども適宜調査します。前年度から継続中の 60300-3-9: Risk analysis of technological system の二次審議及び解説書のまとめを併行して行います。
この研究会は、これらの規格を正確に理解し、わが国の企業がこれらの規格を効果的に適用できるための検討を行い、会員に周知したいと考えています。新しい会員、特に、若手会員の参加を歓迎します。
(連絡先) 主査 山内 慎二 (自宅) Tel/Fax 03-3948-7364
副主査 黒田 豊 (自宅) Tel/Fax 042-563-1501

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書(『ライフサイクル コスティング—JIS C5750-3-3 導入と適用事例—』)の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lcc の啓発活動もおこなっています。

毎月1回、原則として金曜日の夜に千駄ヶ谷もしくは東高円寺の日科技連ビルに集まり、2時間にわたる研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーがこの1ヵ月間で収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当者を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日 時) 2014年2月21日(金) 18:00~20:00
(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル会議室
(渋谷区千駄ヶ谷5-10-11) (JR代々木駅または千駄ヶ谷駅から徒歩10分, 地下鉄副都心線
北参道駅から徒歩7分, 都営大江戸線 代々木駅または国立競技場駅から徒歩10分)
(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com
同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 2月例会 (第112回)

(日 時) 2014年2月28日(金) 13:00~17:00
(場 所) 日本科学技術連盟 千駄ヶ谷ビル 3号館3階C室
〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11 http://www.juse.or.jp/about/location_map1.html

(議 題)

- 1) 幹事会からの連絡事項 13:00~13:15
 - ・新入会員の紹介、オブザーバの紹介
 - ・日本信頼性学会情報 他
- 2) プレゼン
 - ① 「(仮)材料から見たはんだ付の基礎と信頼性」・・・会員 吉川俊作氏 13:15~14:15
 - ② 「品質工学による信頼性・安全性の向上
ー信頼性テストの時間短縮と市場故障の予測(その2)ー」会員 長谷部光雄氏 14:15~15:00
 - <ポイント> ・時間をかけずに信頼性を評価できる「理論」
(休憩) 15:00~15:15
 - ③ 「解析向け画像処理ソフトの現状と課題」・・・会員 伊佐 敏氏 15:15~15:45
- 3) 紹介, 提案&議論
 - ①最近発生している信頼性・安全性問題・・・全員 15:45~16:25
 - ・難燃剤, 信頼性試験時間の短縮 など
 - ②「不再現(不安定)に関する事例紹介と議論(その6)」・会員 味岡恒夫氏 16:25~16:55
 - ・アンケート集計状況
- 4) 今後の予定 16:55~17:00
 - ・4月例会(第113回)開催案内(案)
 - ・2014年度 活動計画
 - ・その他

(連絡先) 日本信頼性学会 事務局 reaj@juse.or.jp
故障物性研究会 主査 土屋英晴 hideharu-tuchiya@anden.co.jp
副主査 味岡恒夫 ajioka542@oki.com

2月例会ご参加ご希望の方は、2月21日(金)までに事務局あてお知らせください。

日本信頼性学会関西支部 2013年度第2回見学会

次の通り、日本信頼性学会関西支部の見学会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

- (日 時) 2014年3月11日(火) 14:00~17:00
(見学先) 株式会社島津製作所 クオリティセンター
〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1番地 同社HP <http://www.shimadzu.co.jp/>
(集 合) 島津製作所の正門前に、13:50までにご集合ください。
(交 通) 京都市営地下鉄東西線「西大路御池駅」より徒歩3分
阪急京都線「西院駅」より徒歩10分
案内図 <http://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/access/sanjo.html>
(内 容) 1. 講演 「医用電気機器の製品安全および EMC 規格について」
2. 施設説明「クオリティセンターの紹介」
3. クオリティセンター見学

今回の見学会は、分析機器や計測機器、医用機器、航空機器など産業機器メーカーとして知られている島津製作所様の「クオリティセンター」を計画しました。

新聞などで目にされた方も居られると思いますが、島津製作所様の「クオリティセンター」は、2013年12月に竣工、2014年1月から順次稼働予定のいわば新装オープン段階で、同社が開発・製造する製品の品質向上のための拠点として、製品開発や不具合解析に必要な各種の評価・解析設備や機能を集約し、規格・規制対応と開発・品質保証対応を行う施設です。X線が発生する医用機器のEMC規制にも対応した10m法大型電波暗室や大型機器の温湿度試験が可能な大型恒温恒湿室をはじめ、信頼性評価、材料解析、精密計測のためのさまざまな設備が設置され、製品の信頼性・安全性の一層の向上を目指されています。

また、今回はクオリティセンターの見学とともに、より安全性が求められ、今後ますます強化が予定される医用電気機器のEMC規格および製品安全についての講演もさせていただきます。

医用機器のEMCや安全性について、理解を深めるのにまたとない機会と思われれます。是非、多くの方のご参加をお待ちしております。

- (参加費) 会員：無料 非会員：2,000円
(申込先) 日本信頼性学会 関西支部 事務局 [植村]
〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25 中央電気倶楽部 4階
(一財)日本科学技術連盟 大阪事務所 内
Tel: 06-6341-4627 Fax: 06-6341-4615 E-mail: reaj-kansai@juse.or.jp
(申込方法) 日本信頼性学会のホームページからご予約ください (<http://www.reaj.jp/>)。
※不明な点があれば、上記問い合わせ先に連絡してください。
(申込締切) 2014年3月4日(火)
注: 参加人数は20名以内とします。定員になり次第締め切ります。
同業他社の方はご遠慮ください。

電気通信大学情報システム学研究所シンポジウム

自動車の完全自動運転を目指す研究が話題になっています。自動化技術や情報技術の発展は素晴らしいものがありますが、それらの最新技術を社会生活の中で活かすためには、ヒューマン・マシンの視点からの研究が不可欠です。人の認知・判断・操作を含めて、適切な関わり合いを考えてゆく必要があるでしょう。

また、大島での大雨による土砂災害では、避難勧告・指示の出し方、市民1人1人の判断の問題がク

ローズアップされました。高齢社会を迎えるにあたって、自助・共助・公助の観点からの考察が必要かもしれません。高層建物では、火災時の避難に、高齢者に限ってエレベータを用いることが検討され始めました。

このように、社会や環境が刻々と変わる現代社会における信頼性や保水性、安全性のあり方について第18回を迎える本シンポジウムでも、様々な事例を基に、参加者と本音で議論を展開したいと思います。

(開催日) 2014年2月27日(木)

(会場) 電気通信大学 IS 棟(西10号館) 2F 大会議室

(主催) 田中健次研究室/鈴木和幸研究室

(協賛) 日本信頼性学会 他

(問合せ先) 田中健次氏 E-mail: tanaka@is.uec.ac.jp

詳細は、<http://www.tanaka.is.uec.ac.jp/wiki/pukiwiki2/index.php?Kenji%20TANAKA%20lab> からご参照ください。

OR 学会 2014 年春季シンポジウム

(日時) 2014年3月5日(水) 13:30~17:15

(場所) 大阪大学 豊中キャンパス(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1)

アクセス <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/>

(テーマ) 「ICT と OR — 広がる学際領域 —」

詳細は、http://www.orsj.or.jp/~nc2014s/?page_id=116 をご参照ください。

OR 学会 2014 年春季研究発表会

(日時) 2014年3月6日(木), 7日(金)

(場所) 大阪大学 豊中キャンパス(〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1)

アクセス <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/>

(テーマ) 「新時代のビジネスと OR」

(発表申込) 2013年12月1日(日)~12月31日(火)

詳細は、<http://www.orsj.or.jp/2014spring/> をご参照ください。

(上記2件についてのお問合せ) 日本 OR 学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

ソフトウェアテストシンポジウム 2014 東京

(開催日) 2014年3月7日(金)~8日(土)

(会場) 東洋大学 白山キャンパス(東京都文京区)

<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>

(主催) ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER)

(協賛) 日本信頼性学会 他

(基調講演) スチュアート・リード氏 (Testing Solution Group)

(招待講演) 八谷 和彦氏 (東京芸術大学)

(問合せ先) 特定非営利活動法人 ソフトウェア技術振興協会 (ASTER) 事務局

〒105-0014 東京都港区芝2-29-10 常和芝ビル7階

TEL03-5444-7601 FAX03-5444-8095 E-mail : tokyo-query@jasst.jp

詳細は、<http://jasst.jp/> をご参照ください。

プロジェクトマネジメント学会 2014 年度春季研究発表大会

- (開催日) 2014 年 3 月 13 日 (木) ～14 日 (金)
(会 場) 東洋大学 白山キャンパス (東京都文京区)
<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>
(主 催) 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(問合先) 特定非営利活動法人 ソフトウェア技術振興協会 (ASTER) 事務局
〒105-0014 東京都港区芝2-29-10 常和芝ビル7階
TEL03-5444-7601 FAX03-5444-8095 E-mail : tokyo-query@jasst.jp
詳細は、<http://spm-hq.jp/event/detail.php?id=74> をご参照ください。

第 6 回信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム

(APARM2014)

- (開催日) 2014 年 8 月 21 日 (木) ～ 23 日 (土)
(会 場) 北海学園大学 豊平キャンパス 国際会議場 (札幌市豊平区旭町 4 丁目 1 番 40 号)
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(概 要) APARM (信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム) は来年で6回目の開催を迎える信頼性工学分野の国際会議です。過去10年間に渡り、幅広い信頼性関連テーマで海外の研究者/学生の皆様が参集され、討論できる場となっております。第6回シンポジウム (APARM2014) はテーマを“Recent Developments on Reliability, Maintainability and Dependability”と題し、平成26年8月21日～23日に札幌の北海学園大学で開催されます。皆様のご参加を心からお待ちしております。
(問合先) APARM2014実行委員会 実行委員長 山本久志
〒191-0065 東京都日野市旭が丘6-6 首都大学東京システムデザイン学部
TEL/FAX:042-625-4789 E-mail : aparm2014@aparmnet.org
お申し込み等の詳細は <http://www.aparmnet.org/> をご参照ください。

科学技術国際シンポジウム

「イノベーションを牽引するシステム科学技術～日米中の動向に学ぶ」

- (開催日) 2014 年 2 月 21 日 (金) 13:00～17:30 (12:30 開場)
(会 場) ベルサール飯田橋駅前 (最寄り駅：飯田橋)
(主 催) 独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター
(後 援) 文部科学省, 横幹連合, (公社) 日本工学アカデミー, (公社) 計測自動車制御学会
(参加費) 無料
(問合先) 科学技術国際シンポジウム「イノベーションを牽引するシステム科学技術」事務局
(株式会社プライムインターナショナル内)

TEL03-6277-0117 FAX03-6277-0118 E-mail : jst_crds@prime-pco.com

詳細は、 http://www.prime-pco.com/jst_crds2014/ をご参照ください。

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
Lcc 研究会	日科技連 千駄ヶ谷	2014/2/21		http://www.reaj.jp/
科学技術国際シンポジウム「イノベーションを牽引するシステム科学技術～日米中の動向に学ぶ～」	ベルサール飯田橋駅前／飯田橋	2014/2/21		http://www.prime-pco.com/jst_crds2014/
IEC ディペンダビリティ規格研究会	日科技連 千駄ヶ谷	2014/2/25		http://www.reaj.jp/
故障物性研究会	日科技連 千駄ヶ谷	2014/2/28		http://www.reaj.jp/
OR 学会 2014 年春季シンポジウム	大阪大学豊中キャンパス／豊中市	2014/3/5		http://www.orsj.or.jp/~nc2014s/?page_id=116
2013 年度第 1 回見学会	京王電鉄株若葉台工場／稲城市	2014/3/6	2014/2/27	http://www.resj.jp/
2014/関西支部 2013 年度第 2 回見学会	㈱島津製作所 京都市中京区	2014/3/11	2014/3/4	http://www.reaj.jp/
プロジェクトマネジメント学会 2014 年度春季研究発表大会	東洋大学 文京区	2014/3/13-14		http://spm-hq.jp/event/detail.php?id=74
OR 学会 2014 年春季研究発表会	大阪大学豊中キャンパス／豊中市	2014/3/6-7		http://www.orsj.or.jp/2014spring/
ソフトウェアテストシンポジウム 2014 東京	東洋大学 文京区	2014/3/7-8		http://jasst.jp/
日本信頼性学会第 22 回春季信頼性シンポジウム	日科技連 千駄ヶ谷	2014/6/23	2014/3/17	http://www.reaj.jp/
第 6 回信頼性・保全性モデリングに関するアジア・太平洋国際シンポジウム (APARM2014)	北海学園大学 北海道札幌市	2014/8/21-23		http://www.aparmnet.org/